

9月23日、農林畜産食品部は、京畿道金浦市所在の豚農場でアフリカ豚コレラが確定したとの報道資料を発売したところ概要以下のとおり。

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbWFmc mEIMkY20CUyRjMyMTQwMSUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRg%3D%3D>

【見出し】

京畿道金浦市所在の豚農場1か所でアフリカ豚コレラ (ASF) 確定

【本文】

農林畜産食品部(以下「農食品部」)は9月23日、重点管理地域内に位置する京畿道金浦市の豚農場(約1,800頭飼育)の疑い畜の申告の件について農林畜産検疫本部で精密検査を実施した結果、9月23日午後7時半ごろ、アフリカ豚コレラ(以下「ASF」)と確認されたと明らかにした。

\*国内ASF診断:計3件(本日1、既発生2)

- 1)9月16日申告、京畿道坡州市所在の豚農場(9月17日確定)
- 2)9月17日申告、京畿道漣川郡所在の豚農場(9月18日確定)
- 3)9月23日申告、京畿道金浦市所在の豚農場(9月23日確定)

農食品部は、該当農場の疑い畜申告受付直後から現場に初動防疫チームを緊急投入し、人、家畜及び車両に対する移動統制、消毒など緊急防疫措置を取ってきた。

今回、ASFと確定されたことを受け、殺処分措置を直ちに実施し、発生原因の把握のための疫学調査を進める。

畜産農家及び畜産関係者に対しては農場及び関連施設に対する消毒など徹底した防疫措置を実施し、綿密な臨床観察を通じて疑い畜が発見された場合には速やかに届け出るよう要請した。

(以上)